広島市教育センター

戸坂城山小学校編

OJTを充実させる環境づくり

今年度の0JT Newsでは、[0JT News No. 1]で示した「0JT実践上の課題」の5つの視点に対応した実践を紹介しています。今号で紹介する学校は、①「時間の確保」⑤「組織的な取組・組織づくり」の2項目に対応した実践を行っている戸坂城山小学校です。

授業力、学級経営力、同僚性の向上に向けて

戸坂城山小学校は、各学年2クラスの、比較的職員数の少ない小学校です。そのうち、若手教員(5年目まで)は、臨時的任用教員を含め5人所属しており、若手教員の授業力、学級経営力の向上は喫緊の課題でした。

しかし、職員数や業務の状況等から、人材育成に向けた取組を新たに企画 することは難しい状況でした。

そこで、発想を変え、今ある「場」や「空間」を活用するなどして、若手 教員のOJTを充実させる環境づくりを行っています。

5つの視点

- ① 時間の確保
 - ② 計画的な取組
 - ③ 研修指導者の確保
 - ④ 参加意欲・主体的な学び
- ⑤ 組織的な取組・組織づくり

1 OJTの「場」として校内組織を活用

校内に9つあった組織を4つに統合・再整理し、構成メンバーを3人程度から7~8人にすることで、若手教員を含め、より多くの教員が協議できるようにしました。

また、それらの組織に係る会議の他、定期的に実施している暮会(週2回)や職員会議(月1回)、校務部会(月1回)、学年会(週2回)についても、重要なOJTの「場」として捉え直し、短時間でも、確実に実施することとしました。

若手教員は、各会議等において、自身が抱える課題や悩み、疑問に思ったこと等を積極的に伝えることで、多くのベテラン教員や中堅教員からアドバイスをもらっています。



2 掲示板を活用した情報共有

職員が頻繁に使用する印刷室に設置した掲示板を活用して,

- ① 管理職が授業観察した際に目にとまった教材や教室の掲示物等
- ② 職員の出張報告
- ③ 教育センター等の広報紙やその他の情報

などの情報共有を行っています。

若手教員は、掲示してある情報を自身の実践に活用するとともに、必要に応じて、教材等を作成した教員に直接質問等を行い、より深く情報を得るようにしています。



【若手教員(4年目)のコメント】

掲示板には、掲示物、教材などの参考例が、コメントも添えて掲示してあるので大変分かりやすく、提供してくださった先生に作成意図や活用法を直接聞くこともできるので、とても助かっています。

また,自分が困っていることなどを会議や暮会など で相談することで,多くの先輩方からアドバイスをい ただくことができるので大変心強く有難いです。





【校長のコメント】

学校における日々の実践は、人材育成に活用できるところが沢山あると思います。本校の今ある「場」を活用する取組をとおして、若手も含めた全ての教員が活躍する機会を設定できます。またそれらの「場」において若手が発信するメッセージは、先輩教員の良い刺激にもつながっています。

戸坂城山小の人材育成

授業力・学級経営力の向上 さらなる同僚性の向上

OJTの 「場」として 校内組織を 活用 教員同士の対話の活発化

掲示板を 活用した 情報共有

OJTを充実させる環境づくり